立命館大学 国際関係学部
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL: 075-465-1211　E-mail: irpost01@st.ritsumei.ac.jp

先生方のプロフィール、先輩のメッセージなど
最新の情報ほこちら
www.ritsumei.ac.jp/ir/

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN

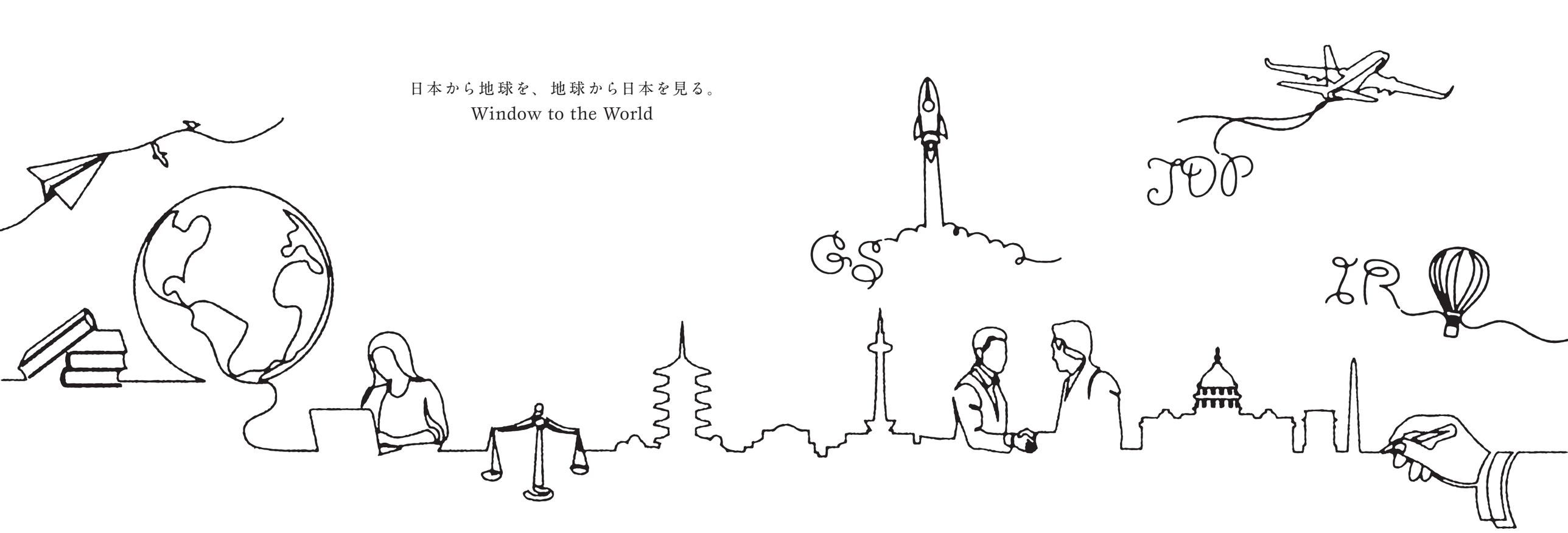
RITSUMEIKAN UNIVERSITY

COLLEGE OF INTERNATIONAL RELATIONS

立命館大学 国際関係学部

AY2020

日本から地球を、地球から日本を見る。
Window to the World



Our Next Chapter

Evolving College of International Relations

枠を超えた進化に挑む。

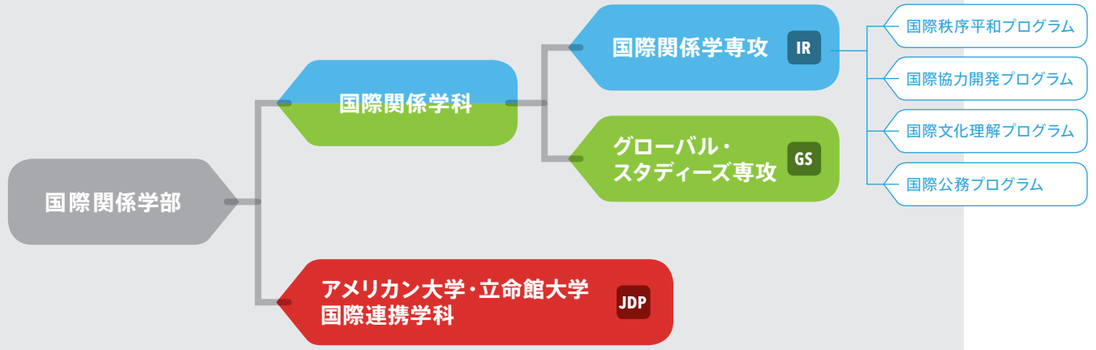
FRONT-RUNNER 最先端を走り続ける。

立命館大学国際関係学部は1988年に西日本初の国際系学部として設立され、この30年間、国際関係学教育・研究の地平を切り拓いてきました。現在の国際社会の課題は、武力紛争や経済摩擦、移民問題など国家間の対立を伴うもの、また、気候変動、資源、生物多様性、人権など国の枠を超えて取り組むべきものなど、非常に多様で複雑です。こうした課題は一朝一夕に解決するものではありませんが、それに果敢に挑戦することは非常に重要です。つまり、国際関係学が現在の社会においてますます重要性を高めているのです。わたしたちは、学生のみなさんに広い視野と見識、そして柔軟な思考力を養ってもらいたい、そして、新しい可能性に常に挑戦しつづける力をつけてほしいと思っています。本学部の多様なバックグラウンドを持つ教員がそれを後押しします。「立命国関」はこれからも国際社会の課題に挑戦し続け、時代の先端を行く学部として発展していきます。

国際関係学部 学部長
河村 律子

IR GS 国際関係学科

国際関係学部は、世界各地の学生が高い志を持って集う多文化共存の空間です。多様なバックグラウンドを持った、留学生、教授陣が揃っています。国際的に教育・研究・社会貢献を行う教員、国際社会のさまざまな分野で活躍してきた客員教授、そして、日本で数人しかいない珍しい専門領域を持つ教員たちから新たな発見や閃きを得ることができるでしょう。多文化が融合する空間で学び、国際的な感覚と知性を磨き、世界が求めるグローバルな見識と行動力を養います。現代の国際社会が抱える問題を多面的に探求し、既成概念にとらわれずに自分の頭で考え、問題解決に挑みます。
主に日本語で学ぶ国際関係学専攻と英語で学ぶグローバル・スタディーズ専攻。多くの科目で、同じ内容の講義を日本語と英語の両言語で開講しています。クロス履修システムを活用することで、国際関係学専攻の学生は関心ある科目を英語で学ぶことができ、グローバル・スタディーズ専攻の学生は日本語による科目を受講することができます。



JDP アメリカン大学・立命館大学国際連携学科

Over a quarter century, scholarly exchange has grown and bloomed between Kyoto and Washington D.C.

30年の時を経て立命館大学国際関係学部は、「国際関係学」の「知」を育んできました。1994年、日本国内で初めてDUDP（デュアル・ディグリー・プログラム）を導入しました。長期に渡る教員の相互派遣、教員および職員間の交流を経て、2018年には、DUDPをさらに進化させ、アメリカン大学と共同で、学部レベルでは日本初となる国際連携学科（ジョイント・ディグリー・プログラム）を開設しました。プログラムでは、西欧中心に築かれた学問体系である「国際関係学」を、さらに日本を含む非西洋の視点を取り入れ発展させた「グローバル国際関係学」の修得を目指して京都とワシントンD.C.でそれぞれ2年ずつ学び、単一の共同学位（BA in Global IR）を取得します。

IR at a glance

34 カ国・地域 **158** 大学・機関

多様な留学先・プログラムに挑戦できます。独自の研修、ボランティア等での海外渡航を含めると、大半の学生が海外活動に挑戦しています。

11 カ国＋ **27** カ国・地域

11カ国から集った教員と27カ国・地域から集った263名の留学生がともに学びます。

1225 年の都 **KYOTO**

1225年の都、文化と歴史の街であり、大学の町である京都、衣笠キャンパスで学びます。

英語による授業 **98**

IR（日本語基準）専攻とGS（英語基準）専攻の2専攻制。日本語基準専攻で入学しても98もの英語で開講される授業にチャレンジできます。

＊一定の語学力が必要です

世界で活躍する **8000** 人

グローバル企業、外務省、国際機関、NGOをはじめとした各分野で約8000名の卒業生が活躍しています。

立命館大学国際関係研究科は
日本唯一の
APSIAのメンバーです。

APSIAとは、Association of Professional Schools of International Affairsの略で、国際関係・安全保障・平和問題、といった国際関係学が取り扱う諸問題に関する教育の実施と、この分野における高度専門知識を持つ人材の養成を目的に設立された非営利組織です。ハーバード大学、コロンビア大学、エール大学、アメリカン大学などが加盟しています。日本からは、立命館大学国際関係研究科が唯一の正規会員として加盟しています。

Our Faculty and Specializations

国際関係学とは何か？

これは関連する学問分野や研究トピックの一部を示した国際関係学キーワード群です。
キーワードも、キーワード同士のつながり方も、無限の組み合せがあるでしょう。
これらの領域を広くカバーする教員があなたの「国際関係学」をサポートします。

…… 国際関係学の研究分野や研究対象の一例
…… 国際関係学部の教員

JDP AU-RU Joint Degree Program

IR 国際秩序平和プログラム
GS Governance and Peace Cluster

外交
日米関係
中邨 啓示
米中時代
アメリカ
萩中 三十二
経済摩擦
TPP
中戸 祐夫
北朝鮮
三宅 正隆
紛争解決
憲法９条
君島 東彦
FRENCH, Thomas William
イギリス
冷戦
南野 泰義
平和学
秋山 肇
O'MOCHAIN, Robert
ナショナリズム
移民
益田 実
フランス
人種
中本 真生子
国際政治
宇宙法
龍澤 邦彦
川村 仁子
MOUSOURAKIS, George
地方分権
アフリカ
岩田 拓夫
ナノテク
クローン技術
先端科学
国際法
西村 智朗
原子力
生物多様性
林 恩廷
地球温暖化
林 大祐
再生可能エネルギー
エネルギー転換
環境保全
技術移転
持続可能な開発
民主化
イスラエル
シリア
中東
国際組織犯罪
麻薬
イスラーム
末近 浩太
インドネシア
テロ
海賊
本名 純
森下 明子
平和構築
東南アジア
雨河 祐一郎
タイ
国境
PKO
農村
ミャンマー
国際協力
UNPKO
山田 真弓
平和構築
カンボジア
メコン地域開発
フェアトレード
国際機関
石原 直紀
United Nations
EU
地域統合
東アジア共同体
台湾
星野 郁
IMF
ユーロ
金融危機
ドル
大田 英明
徳丸 浩
貧困削減
井手上 和代
小山 昌久
ODA
国際経済
西崎 純代
嶋田 晴行
外国直接投資
開発経済学
多国籍企業
矢根 遥佳
板木 雅彦
経済政策
アベノミクス
経済理論
森岡 真史
貿易
通貨
国際 関係理論
安高 啓朗
軍縮
核兵器
福海 さやか
国際政治
足立 研幾
規範
NGO
市民社会
世界 社会論
グローバリゼーション
日本語教育
翻訳通訳
三井 久美子
奉 鉉京
言語
異文化コミュニケーション
英語教育
五十嵐 優子
KUNSCHAK, Claudia
文化人類学
宗教
ジェンダー
DE ANTONI, Andrea
LIONG, Chang Chin Mario
鳥山 純子
原 毅彦
ペルー
ラテンアメリカ
国際結婚
南川 文里
日本サブカルチャー
日系アメリカ人
CHEUNG, Yukman
竹内 隆夫
家族
社会学
RAJKAI, Zsombor Tibor
IR 国際文化理解プログラム
GS Culture and Society Cluster
英米文学
映画
ゴジラ
池田 淑子
Japan Studies
SF
TAILLANDIER, Denis
佐伯 千鶴
文化外交
カルチュラル・スタディーズ
クリエイティブ産業
大山 真司
マスコミ
メディア
テレビニュース
KOGA BROWES, Scott Philammon
少数民族
フィールドワーク
地域研究
白戸 圭一
ジャーナリズム
インターネット
岡田 滋行
SNS
人口
食料
河村 律子
小木 裕文
チャイナタウン
韓国
金 友子
農業
夏 剛
中国
経済成長
文 京洙
アジア
松田 正彦
フードチェーン
スマートフォン
IT 産業
中川 涼司
IR 国際協力開発プログラム
GS Development and Sustainability Cluster
IR 国際 公務プログラム

＊2019 年度現在の所属教員です

SPECIAL SITE

国際関係学とは何か？

教員が国際関係学の視点で現代社会のトピックを紐解き、学部の学びや自身の研究を紹介する特設ホームページです。国際関係学で何を学ぶのか、その可能性が見えてくるかもしれません。

KEYWORD #01
国際協力・開発援助
東南アジアで体験する
これからの国際援助の在り方
嶋田 晴行

KEYWORD #02
新しい脅威
麻薬産業が
国や国際関係に与える影響
福海 さやか

KEYWORD #03
多文化社会
「移民の国」アメリカの経験から、
日本型の多文化社会を展望する。
南川 文里

KEYWORD #04
中東の政治
中東の政治を
「よりよく」理解するために
末近 浩太

www.ritsumei.ac.jp/ir/study/

国際関係学科

Department of International Relations

多文化が融合する空間で学ぶ。

IR 国際関係学専攻

International Relations Major

国際関係学専攻
についての詳細はこちら

国際秩序の動態を歴史、法、政治、解決・実現方法の四つの角度から学ぶ「国際秩序平和プログラム」。持続可能でバランスの取れた国際協力や開発のあり方を学際的、体系的、実践的に探求する「国際協力開発プログラム」。国際社会の政治・経済構造と文化の関係、異文化理解の方法、異文化衝突の問題などを学び多文化共生の道を探る「国際文化理解プログラム」。国際機関、国家および自治体の公務行政について学ぶ「国際公務プログラム」。個々の関心事に沿ったプログラムを選択し、より専門的に深めていきます。

国際秩序平和プログラム

国際社会のダイナミズムを学び、新しい国際秩序のあり方を探る。

国際秩序の歴史と現在、そして新時代の展望を、国際政治・国際関係論・国際法・国際経済などの分野から綜合的に学修。戦争・平和・人権から、紛争や経済摩擦まで、幅広い問題を解決するための新たな手法を探ります。

国際協力開発プログラム

持続的な社会と経済発展を両立する国際協力・開発援助のあり方を学ぶ。

途上国の現状や国際協力・援助など、国際的な社会・経済発展の条件や貧富の格差の問題を実践的に学修。政府や国際機関による国際協力だけでなく、企業やNGOなどの活動も視野に入れながら諸問題の解決策を探ります。

国際文化理解プログラム

高度な異文化理解力を身につけ共生社会の実現にアプローチ。

グローバル化が進む現代において、多様な文化や価値観を尊重しあい、共生社会を育てて行くことは重要なテーマです。さまざまな文化や社会を比較考察し、多文化共生の道を探ります。

国際公務プログラム

国際関係の学びを国内外の行政キャリアへと繋ぐ少人数教育

外交官をはじめとする国家公務員や国連職員、地域を支える地方公務員など、行政を担うキャリアをめざす学生が切磋琢磨しながら、グローバルな公共政策や国内外の行政に関する実務と理論を学びます。

GS グローバル・スタディーズ専攻

Global Studies Major

グローバル・スタディーズ専攻
についての詳細はこちら

2011年に開始した「国際関係学」を英語で学ぶグローバル・スタディーズ専攻。開設当初は1学年60名でスタートしましたが、強い要望に応え、2018年からは1学年100名に定員を拡大しました。今では28カ国以上から集まる学生と11カ国から集まる教員が多様な文化を抱える学びの集団を形成しています。2018年度カリキュラム改革を経て、プログラム間の境界を越えて自由に科目を選択できる、より学際的なコースを提供します。

This major seeks to stimulate a systematic learning, while going beyond the borders of academic, scientific, disciplines. The program is designed to be flexible, with students able to design their learning programs based on their interests and career goals. The program puts a focus on courses related to Japan and Asia and has increased these courses. In the first year, students take a range of introductory and foundation courses as well as academic skills courses, which develop a foundation for their studies in English. From the second year, students start their study of core courses choosing from a mixture of 3 clusters detailed below.

Governance and Peace Cluster

International Law, Security Studies, Global Political Economy, Comparative and Global Governance, Peace and Conflict Studies, International Organization, International Human Rights, Advanced Topics in International Relations

Development and Sustainability Cluster

Development Studies, Global Environmental Issues, Microeconomics, International Trade and Investment, International Finance, Global Civil Society and Development, Advanced Topics in International Relations

Culture and Society Cluster

Race and Ethnicity in the Modern World, Media and Society, Cultural Awareness and Communication, Global Sociology, International Migration, Topics in Identity, Advanced Topics in International Relations

アメリカン大学・立命館大学 国際連携学科

JDP

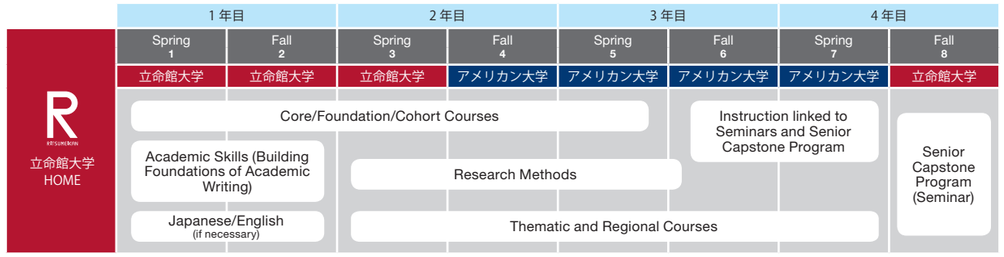
American University-Ritsumeikan University Joint Degree Program

アメリカン大学・立命館大学
国際連携学科
についての詳細はこちら

国際政治の中枢で学ぶ。

アメリカン大学と立命館大学が共同で開設する国際連携学科（ジョイント・ディグリー・プログラム）では、京都とワシントンD.C.でそれぞれ2年ずつ学び、共同学位（学士「グローバル国際関係学」）を取得します。世界の動きを肌で感じながら、専門分野に加えて語学力を伸ばし、国際感覚を培うことができます。アメリカン大学は、国際関係学において全米9位（学部）*。1963年の卒業式では、ケネディ大統領が「平和の戦略」の演説を行いました。オバマ大統領をはじめとする歴代の大統領が訪れる大学です。日本の伝統文化と革新の気質が融合する京都と、激動の政治の中心に位置するワシントンD.C.。二つの都市での学びは、歴史・文化そして国境を超えた人と人の交わりを可能にし、世界中の人々とのネットワークを築き、グローバル・リーダーの精神を育みます。

＊“Foreign Policy Magazine (2018)”のランキング



グローバル国際関係学とは

JDPでは、西洋の国際関係学の枠組みを超えた、「グローバル国際関係学」を修得することを目指しています。これまでの「国際関係学（IR）」は、西洋、とりわけ英米的視点によって発展してきました。国際社会の多元化に伴い非西洋的視点の必要性が国際関係学の世界でも主張されています。こうした状況のなかで、非西洋社会に位置しつつもいち早く西洋をモデルとした近代化を成し遂げた日本社会において、西洋および非西洋という二項対立的視点を超えた新たな国際関係学を学ぶ意義と必要性が高まっています。アメリカと日本、二つの視点から国際関係学を考えていく新しい挑戦です。

ラーニングスケジュール

立命館大学から学修を開始する「RU Home Students」は、入学後、最初の1年半を立命館大学で学びます。授業は全て英語で行われ、国際関係学部に在籍する多くの留学生（2019年度28ヶ国）や、立命館大学で学修中のアメリカン大学の学生と共にグローバルな環境下で学びます。2回生の秋学期からアメリカへ学ぶキャンパスを移動し、4回生春学期までの2年間をアメリカン大学で学びます。4回生の5月末ごろに日本へ帰国、4回生の秋学期にもう一度立命館大学で学びます。最後の1学期で4年間の集大成である卒業研究をまとめ、卒業します。

学修支援プログラム

JDPは、学生が4年間で二つの大学で学び、一つの学位を共同で授与されるこれまでにないプログラムです。プログラムでは、参加学生が着実に充実した4年間を過ごすため、様々なサポートプログラムを用意しています。 米国の大学に直接進学する場合に比べて、英語能力向上の支援や進路・就職面のキャリア・サポートなど、日本の大学ならではのサポートを受けることができると同時に、アカデミック・アドバイジングといった日本の大規模大学では珍しい、国際基準の学修サポートも実施されます。

Learning at IR

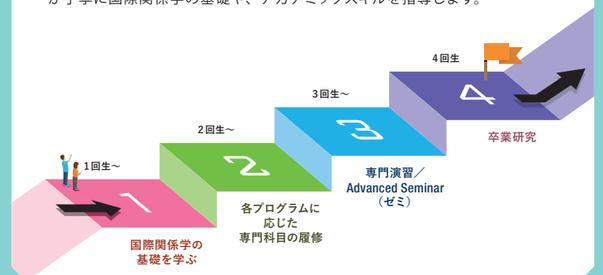
IR GS JDP

特徴ある学び

国際関係学部では2018年度入学者カリキュラムより「卒業研究」が必修となり、ゼミでのまなびや4年間の学びの集大成である卒業研究がより質の高いものになるように、1回生時に4年間の計画を立て、必要なスキルを磨いていくことがますます重要になっています。キャンパスでは、全ての学生が充実した4年間の学びを得られるように、様々なサポートを行っています。

丁寧な新入生サポート（First Year Retreat）

国際関係学部での4年間の学びの計画を立てるため、新入生対象には丁寧なオリエンテーションが行われます。充実した学びを実現する上で重要なプログラム選択やゼミ選択、また留学等の様々な学びの機会や将来の進路選択等について学部の教職員や先輩たちとともに模索し、「学びと成長」の礎を築きます。
基礎演習/Introductory Seminarでは、小規模クラスで教員アドバイザーが丁寧に国際関係学の基礎や、アカデミックスキルを指導します。



日本語と英語を越境して学ぶ「バイリンガルラーナー」

基準の語学力に到達した学生は、自分が所属する専攻、言語をこえて科目を履修できます。日本のキャンパスにいながら、英語圏に留学するのと同じ多くの国際学生と英語で学ぶ学習環境が用意されています。一定の科目を修得した学生は　言語や文化を越境する力を有した「バイリンガルラーナー」として認定されます。

ライティング・チュートリアル

大学の学修の集大成である卒業論文を執筆する際に必要な「アカデミック・ライティング」を身につけるための個別サポートプログラムです（日本語および英語）。論文作成経験が豊富な国際関係研究科の院生および学部の上回生の1対1のサポートにより、必要なスキルを磨きます。

キャリア支援教育

国際関係学部生の興味・関心と希望する進路に応じたキャリア形成支援の一貫として、行政、メディア、民間企業といった各業種に対する理解を深める「プロフェッショナル・ワークショップ」、実務の現状を理解し、自らの適性を認識する「インターンシップ」、実践的なキャリア形成だけでなく、原理的、理論的に自らのキャリア問題を捉える「キャリア・デザイン」など、正課のキャリア教育科目を開講しています。

多様なゲストスピーカー

国際関係学部は、最先端の研究や、実社会と座学のつながりを重視し、多様なゲストスピーカーを授業等に招聘しています。外交や国際問題のエキスパートや、ジャーナリスト、文化活動の専門家や、海外の大学の研究者等が頻繁に来学し、学生はレクチャーへの参加、ディスカッションを通じて、それらのゲストから学ぶことが出来ます。

グローバルエデュケーションを支える国際英語プログラム

TOEFLおよびCEFRの国際標準規格を基にした能力別クラス編成（25名まで）を行い、四つのコース、国際英語（EIS）・ブリッジコース（BIS）・アカデミックスキル（AS）・集中コース（IEIS）で英語による専門講義の履修（クロス履修）と交換留学に備えます。

Point #01
オリエンテーションで行うPlacement Testで四つのレベル（上級・準上級・中級・基礎クラス）に分け、各自の学習習熟度に合った到達目標を設定。

Point #02
交換留学を希望する学生は選考の上、集中コース（IEIS）を週3コマまで履修可能。

Point #03
国際関係学専攻生は、2年次以降に選考の上、アカデミック・スキル（AS）を履修可能。

	1年次						2年次				3年次
	第1学期		第1学期（選択）	第2学期		第2学期（選択）	第1学期	第1学期（選択）	第1学期（選択）	第2学期	
IR 国際関係学専攻	EIS I 週2コマ	EIS II 週2コマ	IEIS I-III 各週1コマ 留学希望者	EIS III 週2コマ	EIS IV 週2コマ	IEIS IV-VI 各週1コマ 留学希望者	BIS I•II 各週1コマ	IEIS I-III 各週1コマ 留学希望者	AS I-III 各週2コマ	BIS III 週1コマ	→クロス履修
										留学へ	
GS グローバル・スタディーズ専攻	AS I 週2コマ	AS II 週2コマ	4月入学者 IEIS I-III 9月入学者 IEIS IV-VI 各週1コマ	AS III 週2コマ		4月入学者 IEIS IV-VI 9月入学者 IEIS I-III 各週1コマ	→英語による専門講義				
							→英語による専門講義			留学へ	
JDP 国際連携学科	AS I 週2コマ	AS II 週2コマ	IEIS I-III 各週1コマ	AS III 週2コマ		IEIS IV-VI 各週1コマ	→英語による専門講義			アメリカン大学へ	

IR 国際関係学専攻

- BIS I•III リーディング、クリティカル・シンキング
- EIS II オーラル・コミュニケーション
- EIS IV アカデミック・ライティング
- BIS I•II 国際秩序平和／国際公務／国際協力開発／国際文化理解各プログラム対応
- BIS III テーマ自由選択

IR GS JDP 国際関係学部共通（選択）

- IEIS I•IV 語彙とリーディング・スキル
- IEIS II•V リスニング・スピーキングスキル
- IEIS III•VI 文法とライティング・スキル

GS JDP グローバル・スタディーズ専攻 および 国際連携学科

- AS I Learning theories, historical developments and current issues in IR while developing reading and critical thinking skills
- AS II Academic writing skills, research and referencing, and IT skills. Autonomous learning and team work
- AS III Solidification of writing and research and academic interaction skills. Conduction of in-depth research on a topic of a student's choice within IR

Voice

室田 夏希 さん
国際関係学専攻 4回生

「英語をツールにもっと世界のことを知りたい」との思いから交換留学を目指すようになりました。英語力向上のため、正課の授業に加えて言語習得センターのIELTS講座も受講。リスニング向上のためのアプリを使ったシャドーイングや、リーディング向上のための新聞記事の活用など、講座ですすめられた学習方法をひたすら実践した結果、スコアが伸び、アメリカノースカロライナ州立大学グリーンズボロ校へ交換留学することができました。留学先では、黒人差別について深く学んだほか、さまざまな課外活動にも参加。中でも、キリスト教を学ぶスタディーグループに無宗教の立場で参加し、日本ではできない多くの経験を通してキリスト教の「隣人愛」を体感できたことは貴重な学びでした。留学によって私は人として成長できたと感じています。

Timeline

4年間の学び

1 〈言語〉と〈理論〉の基礎を育む

回生

国際英語プログラム English for International Studies（EIS）と Academic Skills（AS）

EISは、3C（Content-based, Collaborative learning, Critical Thinking）をベースに国際関係学の知見を深めるための高度な専門英語運用能力を養います。アカデミックな英語運用能力を習得することによって、問題を多角的に捉え、批判的に読み解く力と同時に説得力のある主張で発信力を養います。

外国語の選択（国際関係学科）

国内入試入学者は、英語とフランス語・中国語・スペイン語・ドイツ語・朝鮮語のいずれかを、留学生入試入学者は、英語基準入試の入学者は日本語を、日本語基準入試の入学者は、英語と日本語を学修します。また、希望する学生は国連公用語であるアラビア語、ロシア語を履修することが可能です。

基礎演習 /Introductory Seminar

1回生が入学直後から所属するゼミ形式の授業です。大学での学び方、研究を進める手法、研究成果の発表方法などのスキルを学びます。基礎演習のクラスは4年間を共に過ごす仲間づくりの場でもあります。担当教員だけでなく、オリターと呼ばれる先輩学生などが生活・学修の両面をサポートします。

基礎科目と基幹科目 / General Education Courses & Foundation Courses

国際関係学専攻では、法学、政治学、経済学など、グローバル・スタディーズ専攻では、Politics for Global Studies などにより、国際関係学「理論」の基礎を築きます。

2 専門的分野への第一歩と〈海外への挑戦〉

回生

グローバル・シミュレーション・ゲーミング / Global Simulation Gaming（GSG）

国際関係学専攻とグローバル・スタディーズ専攻を統合し、2回生全員が参加する実践型授業です。環境問題や核開発問題など年毎に統一テーマを決め、学生グループが政府や国際機関、NGO、メディアの役割を演じるロールプレイで国際交渉を行います。実際の国際交渉のプロセスを読み解く力を身につけるだけでなく、コミュニケーション能力を磨き、リーダーシップを育む機会でもあります。

国際関係学セミナー（IRセミナー） Global Studies Seminar（GSセミナー）

国際関係学（IR）専攻の四つのプログラムやグローバル・スタディーズ専攻の三つのクラスターに制限されることなく、自由に選択した分野を、より専門的に学び始めます。IR/GSセミナーでは、担当教員のサポートを受けながら、各分野の古典や基本的文献の購読や読み込むトレーニングを行います。

BIS（Bridge to International Studies）

1年次のEISと英語で行われる専門科目との橋渡しをする科目です。選択したプログラムごとのコースに分かれ、専門分野の主要概念を学びながら、英語の四技能を修得することを目標としています。習熟度別クラス編成を行い、学生のレベルに合わせ、グループワーク、プレゼンテーション、ディベートおよびクラス全体のディスカッションなどを行います。ノートの取り方からエッセイの作成までさまざまなライティングも行います。

3 学びの深化（実践と発信）と地域研究

回生

専門演習 /Advanced Seminar

3・4回生を通じて所属するゼミです。自分の興味ある分野を専門にする先生の下で興味を同じくする仲間と学ぶ2年間であり、卒業研究に向けて準備をする場でもあります。すべての学生がゼミ（専門演習・アドバンストセミナー）に所属し、切磋琢磨しながら卒業研究の基礎となるタームペーパーを作成します。

地域研究科目 /Area Studies Courses

専門分野および研究課題を選択するとともに、具体的にその分野に関与する特定の「地域」に焦点を当て、他の地域（多くの場合、日本）と比較しながら、研究課題をさらに深く掘り下げます。その範囲は、北アメリカ、ラテンアメリカ、ヨーロッパ、日本、アジア、東南アジア、中東、アフリカなど、オセアニアを除くほぼ全域に及びます。

固有専門科目 /Core Program Courses

国際関係の諸側面に関わるさまざまな専門科目を設置しています。なかでも3回生以降は、比較政治論、国際機構論、開発政策論、メディア文化論、International Organizations, Global Civil Society and Development, Global Sociologyといった、各プログラムや各クラスターにおける理論を深く学びます。これらを通して複雑なグローバル社会を総合的・立体的に把握し、自らの問題意識の醸成に繋いでいきます。

4 キャリアの選択と学びの集大成

回生

卒業研究 /Graduation Research

担当教員やゼミの仲間と議論を交わしながら、自分の学びの集大成として卒業研究を仕上げます。4年間の学びは社会人として成長していくための基盤となります。卒業研究を通じて、国際関係学部で学んだ成果を形にすることは、将来のキャリア形成を考える上でも重要です。

キャリア選択と支援

就職活動と大学での学修の両立のため、立命館大学のキャリアオフィスの専門スタッフが一人一人の学生を丁寧に支援します。就職活動中は東京や大阪のキャンパスでも支援が受けられます。オンキャンパスで行われる就職セミナーや企画も多数開催しています。また、国際連携学科の学生は、ワシントンD.C.においてさまざまな企業の就職のワークショップに参加できると同時に、日本からも支援を受けることができます。

国際関係学専攻 IR

- **基礎演習**
- **国際関係学**
- 国際連合入門
- 平和学入門
- 法学
- 経済学
- 政治学
- 社会学
- 言語学
- 文化人類学
- **国際英語（EIS）**
- 初修外国語
- 国際経済学
- 国際政治学
- 国際文化・社会学
- 地域研究論
- **グローバル・シミュレーション・ゲーミング（GSG）**
- **国際関係学セミナー**
- **ブリッジ科目（BIS）**
- 国際法
- 国際協力論
- 途上国政治論
- 欧米政治史
- 国際ジャーナリズム論
- 比較文化論
- プロフェッショナル・ワークショップ
- 東南アジア研究
- ヨーロッパ研究
- 北アメリカ研究
- 東アジア研究
- アフリカ研究
- ラテンアメリカ研究
- 中東研究
- **専門演習**
- 国際人権法
- 国際機構論
- 比較政治論
- 地域開発論
- 開発経済論
- 安全保障論
- 開発と食料
- 開発政策論
- メディア・文化論
- 文化交流史
- 宗教と国際関係
- 国際貿易投資論
- 国際金融論
- 環境経済論
- 比較家族論
- 異文化コミュニケーション論
- **卒業研究**

など

グローバル・スタディーズ専攻 GS

- **Introductory Seminar**
- **Theories of International Relations**
- Introduction to United Nations
- Introduction to Peace Studies
- Politics for Global Studies
- Economics for Global Studies
- Sociology for Global Studies
- **Academic Skills (AS)**
- Kyoto and the Japanese Arts
- Macroeconomics
- **Global Simulation Gaming (GSG)**
- **Global Studies Seminar**
- Introduction to Area Studies
- International Law
- Security Studies
- Global Political Economy
- Development Studies
- Media and Society
- Microeconomics
- Global Environmental Issues
- Cultural Awareness and Communication
- Race and Ethnicity in the Modern World
- **Advanced Seminar**
- Peace and Conflict Studies
- International Human Rights
- International Organizations
- International Finance
- International Trade and Investment
- Global Civil Society and Development
- Global Sociology
- International Migration
- Topics in Identity
- Advanced Topics in International Relations
- **Graduation Research**

アメリカン大学・立命館大学 国際連携学科 JDP

立命館大学（京都）で受講する科目：例 立命館大学から学修を始める際の一例。学習スケジュール、選択する分野などによって選択できる科目は異なります。

- Introductory Seminar
- Theories of International Relations
- Macroeconomics
- Microeconomics
- Japanese Culture
- Introduction to the United Nations
- Comparative and Global Governance
- Introduction to Gender Studies
- Security Studies
- Japanese Politics
- Japanese Society
- Japanese Economy
- Japan-United States Relations
- Advanced Seminar
- **Graduation Research**

アメリカン大学（ワシントンD.C.）で受講する科目：例 2020年度に開講を予定している科目です。

- SISU-106 First Year Seminar
- SISU-206 Introduction to International Relations Research
- SISU-212 China, Japan and the United States
- SISU-306 Advanced International Studies Research
- SISU-312 Governance, Development, and Security in Asia
- SISU-359 Environment, Conflict, and Peace
- SISU-368 Differences and Similarities in Conflict Resolution
- SISU-380 Topics in Global and Comparative Governance
- SISU-393 International Relations Theory

日本語開講

英語開講

クロス履修システム

両専攻では、大半の科目で同じ内容の講義を日本語と英語の両言語で開講。各専攻の学生は、他専攻の科目を半分近くまで履修可能です。

Global Education

海外留学プログラム

留学の目的や意義は一人ひとり違うはず。立命館大学ではそれぞれの目的や状況に応じた多様な留学プログラムが提供されています。

2018年度には201名の国際関係学部の学生が留学・国際プログラムに参加したほか、ボランティアやフィールドワーク等、独自に海外渡航する学生も多数います。留学準備は国際教育センターが丁寧にサポートします。留学を経験した学生が留学アドバイザーとして留学相談に対応するほか、危機管理についても事前に情報提供を行います。

68カ国・地域
455大学・機関
と協定を結んでいます。
2018年10月現在

34カ国・地域
158大学・機関
から留学先を選択できます。
2019年2月末現在

ベルゲン大学
コペンハーゲン大学
ヘルシンキ大学
エジンバラ大学
ルンド大学
マサリク大学
リーズ大学
パリ第7大学
ベネチア大学
グラナダ大学
ロンドン大学
（SOAS,ロイヤルハロウェイ）

吉林大学
延世大学
高麗大学
北京大学
南京大学
上海交通大学
国立台湾大学
タマサート大学
国立シンガポール大学
ガジャマダ大学
マレーシア工科大学

ブリティシュ・コロンビア大学
ミネソタ大学
サフォーク大学
ラトガーズ大学
オクラホマ大学
アメリカン大学
モンテレイ工科大学

クィーンズランド大学
オーストラリア国立大学
メルボルン大学
ウェリントン・ビクトリア大学
ラプラタ大学

イニシエーション型（初級）

語学力の向上と異文化体験を主要な目的としたプログラムです。海外体験があまりない人や語学レベルが初級者向けの異文化体験・語学修得を中心とした短期研修です。

代表的な留学・海外教育プログラム

- **立命館・昭和ボストン**
  留学期間：4週間
  留学先：アメリカ
- **異文化理解セミナー（20コース）**
  留学期間：4週間
  留学先：アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、ドイツ、フランス、スペイン、メキシコ、中国、韓国等

モチベーション向上型（中級）

交換留学に準ずるレベルで語学力を高めながら 外国語による講義をうけるプログラムです。特定のテーマについての講義やフィールドワークなどを行います。

代表的な留学・海外教育プログラム

- **海外スタディ（3コース）**
  留学期間：2～4週間
  留学先：アメリカ、マレーシア
- **立命館・UBCアカデミック・イマージョン・プログラム**
  留学期間：8ヶ月間
  留学先：カナダ
- **マコーリー大学日豪プログラム**
  留学期間：7週間
  留学先：オーストラリア
- **カリフォルニア大学デービス校**
  留学期間：6ヶ月間
  留学先：アメリカ

アドバンスト型（上級）

正規の学部留学、またはそれに匹敵するプログラムで自分の専攻分野の学修を外国語で行うことを主要な目的としたプログラム。現地の正規学生と同様に授業を受け、単位を取得します。多くの国際関係学部生がこのアドバンスト型留学に参加しています。

代表的な留学・海外教育プログラム

- **ASEANで学ぶ国際PBLプログラム**
  留学期間：約4ヶ月～5ヶ月間
  留学先：インドネシア・タイ
- **DUDP（学部共同学位プログラム）**
  留学期間：2年間
  留学先：アメリカ
- **交換留学**
  留学期間：1年間
  留学先：世界31カ国・地域・131大学

海外留学プログラム
についての詳細はこちら

奨学金

大学が実施するプログラムには、プログラムの費用や期間等に応じて受給できる「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」があり、皆さんの熱意をサポートします。例えば、1学年間の交換留学プログラムを修了すると30万円が給付されます。

Voice of Students

在学生の声

応援団吹奏楽部で演奏活動

自分で考え、行動する力がついた

木下 美奈都 さん
国際関係学専攻 4回生

Q どんな課外活動をしていましたか？

応援団吹奏楽部で活動していました。

Q 活動の内容は？

中学校や高校の吹奏楽部と同じようにコンサートやコンクールで演奏する他、体育会各部の応援に出向いたり、地域のイベントで依頼を受けて演奏したり、幅広く活動しています。

Q 課外活動を通して得られたものは？

自分に何ができるか考え、行動する力がつきました。大学の部活動は学生主体で行うので、組織を動かす立場にある3、4回生の責任は重大です。今後の予定を考えながら、自分は何をする必要があるのかをよく考え、周りにも働きかけることを心がけるようになりました。

Q 学部で学んでいることは？

食品廃棄物の実態と、フードバンクという組織の活動について学んでいます。コンビニでのアルバイトで、食品が廃棄されることに疑問を持ったことがきっかけになりました。

Q 学部での学びで得られたものは？

環境関連の授業を受けたことがキャリアを考えるきっかけとなりました。卒業後は環境関連の仕事に就いて、少しでも環境問題解決の役に立てるようにしたいと思います。

児玉 邦宏 さん
国際関係学専攻 4回生

日本と香港をつなぐ「香港学生大使」として活動

国際社会で必要な積極性や広い視野が身についた

Q どんな課外活動をしていましたか？

香港特別行政区政府主催「香港杯全日本大学学生大使英語プログラム」という英語プレゼンテーション大会で優勝し、「香港学生大使」として、日本と香港をつなぐさまざまな活動をしました。

Q 香港に興味を持ったきっかけは？

香港出身の留学生の友人の話が興味深かったことです。私は「オナーズプログラム～国際社会で活躍するための人材養成特別プログラム～」で、外交評論家、岡本行夫先生のゼミに参加して世界で活躍することに興味を持ち、短期留学生のサポート活動もしていました。

Q 「香港学生大使」の活動は？

香港研修に行き、現地の大学で学生同士の交流を行いました。今は、香港からの留学生や、香港に留学している日本人学生との交流活動も行っています。若い世代を主なターゲットに、SNSを通して香港の魅力発信も行っています。

Q 課外活動を通して得られたものは？

積極性、広い視野、公の精神です。国際社会では、積極的に自分の意見を主張することとともに、視点の多様性が重要であると学びました。岡本先生の「自分たちの利益だけではなく、社会全体への貢献を」という言葉も忘れないようにしたいと思います。

Careers

進路・就職

日本郵船株式会社

VOICE

綾　一瑛 さん
2019年 国際関係学部卒業

現在、配属に向けてグループ会社で研修中です。船の入出港に伴う各関係官庁の許可申請や届出を、船社や船の代わりに代理店業務として行っています。担当する船の船員は95%以上が海外出身。多国籍な人材と連携して荷物を無事に届けられた時に大きなやりがいを感じます。大学では、アメリカへの交換留学を通して語学力とコミュニケーション能力を身につけました。また、ゼミでの議論により、世間で当たり前と考えられていることに対して、自由な発想で多面的に考える習慣を身につけることもできました。外部環境の影響を受けやすい海運業界では、既存の価値観にとらわれず、新しい発想で物を作りだすことが重要です。入社面接で「綾君の自由な発想が、これからの社会で必要になる」という言葉をいただけたのは、ゼミでの経験のおかげだと思います。今後5年以内に海外駐在を経験し、志望理由であった「日本の製品を世界に届け、日本にないものを世界から運んでくる」ことへ尽力したいと考えています。

三菱商事ファッション株式会社　営業第一本部

VOICE

横田 萌音 さん
2019年 国際関係学部卒業

2回生の夏からアメリカのミシガン州にあるウェスタンミシガン大学に交換留学しました。日本ではあまり深く学べないgenderやfeminismを学びたかったからです。少人数のクラスは、同じ分野に関心を持つ、意欲の高い学生がいる恵まれた環境でした。そこで私は自分の好きな勉強にとことんのめり込む楽しさを知り、仲間と一緒に自分をもっと成長させたいという意欲を持つこともできました。洋服が好きで入社した今の会社でも、同じことにわくわくできる方々と一緒に働いています。留学時と同じく、成長することに貪欲になれる恵まれた環境です。今は一つの担当ブランドの洋服を縫製する海外工場の生産企画、生産管理を担当しています。生地の段階から関わった洋服が店頭に並び、お客様が手に取っておられるのを見ると、大きなやりがいを感じます。ブランドのパートナーとして積極的に素材やデザインなどを提案し、それを製品化できるビジネスパーソンになることが当面の目標です。

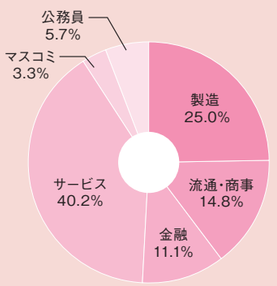
進路・就職状況

開設30年をむかえ、世界の第一線で7,500名以上の卒業生が活躍

世界に広がるネットワークを活かして、国際的な機関やメーカーなど企業の国際業務セクションに多く採用されています。
世界の有力大学院にも多数進学しています（オックスフォード大学、ジョンズ・ホプキンズ大学、サセックス大学など）。

2018年度卒業生　就職先一例　〈50音順〉

（株）IHI	大日本印刷（株）	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン（株）
アクセンチュア（株）	大和証券（株）	丸紅（株）
江崎グリコ（株）	東海旅客鉄道（株）	（株）三菱UFJ銀行
（株）キーエンス	豊田通商（株）	（株）村田製作所
キヤノン（株）	（株）ニコン	ヤフー（株）
京セラ（株）	日産自動車（株）	楽天（株）
（株）京都新聞社	日本電気（株）	（株）LIXIL
キリン（株）	日本郵船（株）	ローム（株）
KDDI（株）	日本アイ・ビー・エム（株）	国家公務員総合職
シャープ（株）	日本工営（株）	国家公務員一般職
全日本空輸（株）	日本航空（株）	裁判所職員一般職
ソフトバンク（株）	野村證券（株）	地方公務員（上級職）



※円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出